

本文

※例文は学習用に作成しています。

- ① 花の色うつろひにけり。
- ② 都は遥かに遠くなりぬ。
- ③ 雨の降るらむ里こそ恋しけれ、いかになりけむ。
- ④ いざ、この歌をなむ詠まむ。
- ⑤ 風の音にぞおどろかれぬる。
- ⑥ 君が代の千代に八千代に栄えなむ。
- ⑦ 夜更けて、人皆寝ぬ。
- ⑧ 知らぬ人に道を問ふ。
- ⑨ この笛の音、いと尊くこそ聞こえしか。
- ⑩ 白雲のたなびく山の見ゆるかな。
- ⑪ わが待つ人は来ずやあらむ。
- ⑫ 風吹きて、波荒くなりけり。
- ⑬ 日は暮れぬれど、宿にもえ帰らで侘ぶ。
- ⑭ 翁、竹を取るに、根元光る竹なむ一筋ありける。
- ⑮ 月の都の人なりと名のりたまふ。
- ⑯ 軒近く梅咲きたるを、いとめでたしと見る。

設問 (全26問)

1. 傍線部①「に」は文法的に何か。次から選べ。
 - ア 完了の助動詞「ぬ」の連用形
 - イ 断定の助動詞「なり」の連用形
 - ウ 格助詞
 - エ 形容動詞の活用語尾
2. ①「に」がそう判別できる根拠を、直前の語の活用形に触れて説明せよ。
3. 傍線部②「なり」は文法的に何か。品詞と種類を答えよ。
4. ②「なり」が動詞であると分かる根拠を、直前の語「遠く」の品詞に触れて述べよ。
5. 傍線部③「なり」は何か。次から選べ。
 - ア 断定の助動詞
 - イ 伝聞推定の助動詞

- ウ 形容動詞「いかなり」の活用語尾
 - エ 四段動詞「なる」の連用形
6. 傍線部④「む」は文法的に何か。助動詞の種類と、ここでの意味を答えよ。
7. ④の直前に「なむ」があるが、これは何か。係助詞・終助詞・「な+む」のいずれかを答え、文末「む」が連体形である理由と結びつけて説明せよ。
8. 傍線部⑤「れ」は文法的に何か。次から選べ。
- ア 受身の助動詞「る」の連用形
 - イ 自発の助動詞「る」の連用形
 - ウ 可能の助動詞「る」の連用形
 - エ 完了の助動詞「り」の已然形
9. ⑤「れ」の意味が自発であると判断できる手がかりを、動詞「おどろく」の語義に触れて述べよ。
10. 傍線部⑥「なむ」は文法的に何か。次から選べ。
- ア 係助詞
 - イ 他に対する願望の終助詞
 - ウ 強意（確述）の助動詞「ぬ」未然形+推量「む」
 - エ ナ変動詞の一部
11. ⑥「なむ」が強意「ぬ」+推量「む」であると分かる根拠を、直前の語「栄え」の活用形に触れて説明せよ。
12. 傍線部⑦「ぬ」は文法的に何か。助動詞の種類と活用形を答えよ。
13. 傍線部⑧「ぬ」は文法的に何か。助動詞の種類と活用形を答えよ。
14. ⑦「ぬ」と⑧「ぬ」を見分ける決め手を、それぞれの直前の語の活用形（未然形か連用形か）と、直後の語に着目して説明せよ。【記述】
15. 傍線部⑨「しか」の「し」は文法的に何か。次から選べ。
- ア 過去の助動詞「き」の已然形の一部
 - イ 強意の副助詞
 - ウ サ変動詞「す」の連用形
 - エ 形容詞の活用語尾
16. 傍線部⑩「の」は文法的に何か。次から選べ。
- ア 連体修飾格（～の）
 - イ 主格（～が）

- ウ 同格 (～で)
- エ 体言の代用 (～のもの)

17. 傍線部⑪「が」は文法的に何か。⑩「の」との働きの共通点に触れて答えよ。

18. 傍線部⑫「て」は文法的に何か。助詞の種類を答え、直前が連用形であることを指摘せよ。

19. 傍線部⑬「で」は文法的に何か。次から選べ。また現代語訳せよ。

- ア 断定「なり」連用形+係助詞
- イ 打消の接続助詞 (～ないで)
- ウ 完了「つ」+係助詞
- エ 格助詞

20. 傍線部⑭「に」は文法的に何か。①「に」との違いに触れ、直前「取る」の活用形を根拠に説明せよ。

21. 傍線部⑮「なり」は何か。③「なり」と同じか異なるかを、直前「人」の品詞を根拠に判定せよ。

22. 傍線部⑯「を」は文法的に何か。格助詞か接続助詞かを答え、そう考える理由を述べよ。

23. 傍線部⑰「る」は文法的に何か。助動詞ではないと判断できる根拠を、直前「見」の動詞の種類(上一段)と活用形に触れて説明せよ。

24. 次の現代語訳をせよ。

⑫「風吹きて、波荒くなりけり。」

25. 次の現代語訳をせよ。

⑬「日は暮れぬれど、宿にもえ帰らで侘ぶ。」

26. 特に紛らわしい組について記述せよ。②の伝聞推定でない「なり」(動詞)と、⑮の「なり」が、それぞれ何に接続しているかを対比し、接続によってどう識別するかをまとめて説明せよ。【記述】